

# 「小河内」便り 第14号 平成23年11月

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト（理事長 渡辺眞作）



事務所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3

安佐小河内集会所内

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

皆さまお元気ですか。時折の風に木の葉が舞い小河内も晩秋を感じさせるこの頃です。収穫を終えた田んぼには、ひこばえが青々と伸び、稲の強い生命力を感じます。昔から小河内最大の行事、養山八幡神社の秋季大祭の吹囃子行事、そして前夜祭の、昭和劇団の奉納芝居や神楽も終わり、人（暮らし）も生き物も野山も一斉に冬支度を始めています。

## 養山八幡神社の秋季大祭の吹囃子行事について

吹囃子行事は文化8年（1811年）神輿を小河内の神社に迎え入れる際、村人が太鼓の囃子などで盛大に祝いの行列を行ったのが始まりと伝えら、毎年11月第一日曜日行われます。今年で丁度200年になります。江戸時代後期に当たる1811年は、11代将軍徳川家斉の時代で、伊能忠敬が西日本の測量をした時代です。当時の広島城主は毛利輝元から10代目に当たる朝野齊賢（あさのなりかた）でした。（以上HPより）こうしてみると、長い歴史があることが良くわかります。吹囃子行事は、総務（実行委員長）、囃子の太鼓、棒振り、神輿、屋台船、獅子、鼻高で構成される行列がそれぞれ伝統の衣装をまとい、太鼓や笛の囃子に合わせ境内や参道などを練り歩く行事は誠に荘厳であり、歴史と文化を感じます。平成9年に広島市指定重要無形文化財に指定されました。近年の少子から太鼓を叩く子供が地区内のみでは足りなくなり、外孫を呼び寄せるなど、この確保に苦労しています。又、子供に太鼓の叩き方を教える人の高齢化、神輿を担ぐ若手の減少等、この伝統行事の継承が課題になっております。人口の減少に伴い、小河内を3地区（上、中、下）に分け、輪番制で行っています。



吹囃子行事風景



神事（稚児の奉納舞い）

## 前夜祭の田舎芝居「昭和劇団」演劇と神楽奉納

恒例の秋季大祭前夜（5日）に田舎芝居「昭和劇団」演劇と神楽奉納が行われ、多くの熱心なファンで会場を埋め尽くしました。昭和劇団は田舎に娯楽をと、昭和3年地元の青年団員らにより結成され、80余年の歴史があります。役者は地元の素人で、今年の演題は「水戸黄門」と「母恋鴉」で笑い涙の名演技に拍手喝采でした



水戸黄門「この印籠が目に入らぬか」



## 農村体験ツーリズム「柿もぎ体験」に都市住民ら182人参加

クマ対策と都市住民との交流を目的に平成16年から始まった「小河内の柿もぎ隊」は今年からクマ対策と田舎の暮らしや文化を体験する農村体験ツーリズムとして、10月23日、29日の2回実施しました。当初79組、206人の応募があり小河内の人気イベントになりました。最終的には66組、182人が参加し、下記アンケートの通り参加者全員から満足、と回答、又小河内に初めて来た、と言う人が約7割あり、柿が結ぶ縁が広がっています。

### 10月23日、29日（両日合計）小河内柿もぎ体験アンケート集計結果

参加者（組数）66組（182人） 回答数44組 回答率66・7%（組単位で回答）

#### 1・柿もぎ体験について（）%

|   | 初めて体験した   | 今までしたことがある |
|---|-----------|------------|
| 計 | 40組（90・9） | 4組（9・1）    |

大半の人が、柿もぎ体験が初めて

#### 2・柿もぎ体験の感想（）%

|   | 楽しかった（満足） | 特段の感想はない | 不満足  |
|---|-----------|----------|------|
| 計 | 44（100・0） | 0（0）     | 0（0） |

参加者全員が楽しかった（満足した）と回答

#### 3・今まで小河内に来られたことはありますか（）%

|   | 初めて来た    | 今まで来たことがある |
|---|----------|------------|
| 計 | 32（72・7） | 12（27・3）   |

約3人に2人が小河内に初めて来た、と回答

#### 4・小河内NPO法人は各種ツーリズムを計画しています。今後の参加について（）%

|   | 参加したい    | 参加したくない | 今はわからない |
|---|----------|---------|---------|
| 計 | 38（86・4） | 0（0）    | 6（13・6） |

大半の人が今後も小河内のツーリズムに参加したいとの回答



柿もぎ風景（大仏溝）



吊るし柿の作り方

### 白島商店会との交流（農業体験）

今春白島商店会との交流が始まり、5月田植えとさつまいも植え、7月草刈り、10月稲刈り、さつまいも堀り、柿もぎと、親子で農業体験をしました。

又、7月には小河内から白島の夏祭りに出向き、小河内産の新鮮な野菜を販売、11月には白島から小河内養山八幡神社秋季大祭前夜祭の奉納芝居「昭和劇団」を観劇、更に白島商店で回収されている使用済み割り箸のもらい受け等、白島から延べ約150人が参加、双方の交流が活発に行われました。来年度も引き続き、双方の交流を深めるための事業を話し合っています。

### ハウス「食と農と環境体験・広島」

ハウス食品がホームページで募集した「食と農と環境体験教室」は6月田植とさつまいも植え、7月草取り、川遊び、10月稲刈り、さつまいも堀り、柿もぎ、11月収穫祭と地区交流（餅つき、小河内小学校児童が行う吹囃子行事や水車の里等見学）そして修了式（農業体験修了証授与）を行いました。

田植えや稲刈り等の農業体験が初めての親子が多く、環境や農業に関心を持つようになった、農業の大変さ、苦労が良く分かった、ご飯を感謝していただくようになった等の声が寄せられ、食や農、そして環境に関心を持つようになった、と大きな成果があったとの結果でした。



餅つきに挑戦する子供



NPO 小河内 O プロジェクト渡辺理事長  
修了証書授与

## 小河内情報

### 小河内の統計（8月末現在）

532人 262世帯 児童数13人 高齢率約49%

### 農村体験ツーリズム（今後の予定）

12月3日（土） 漬物講習会（漬物名人指導による講習）

2月18日（土） 炭焼き体験（炭焼き名人指導による炭焼き体験）

3月10日（土） 滝山登山（小河内で一番高い山（692m）に登ります）

### 弥太郎君の販売店

小河内地区内の大場商店、玉田商店、増野商店

ホームセンターナフコ（広島県内全店舗と山口、九州の一部店舗）

緑井の薫風、可部の可笑屋、飯室のまるもと、あさひが丘のふる里

### 新規炭焼き窯建設

ふむふむ助成金で新規に炭焼き窯3基建設、第一号は楓原地区に建設します。

### 企業の森

黒瀬の市有林を広島市との協定に基づき三菱グループ（麒麟ビールさんと三菱商事さん）がCSRの一環として整備しておられますが、11月12日、高台に「みはらしの丘」の整備が行なわれました。15m×10mくらいを整備して、尾根から西側の景色がだいぶ見渡せるようになりました。

11月23日にも、引き続き「みはらしの丘」の整備が行なわれる予定です。



歩道整備に汗を流す麒麟女子社員



麒麟ビールと三菱商事社員の皆さん

### 編集後記

農村体験ツーリズムは、旅行気分で農村を表面的に見るのではなく、長年の農民の暮らしの知恵や技が凝縮されている文化に触れ、食の大切さ、農の大切さ、そして環境の大切さを、体験を通して学ぶものです。小河内には自然豊かな景観や多様な動植物、農産物生産、200年続く吹籬子行事、80年の伝統を誇る田舎芝居「昭和劇団」田楽等の歴史・文化があり、こうした宝を今後も都市住民と共有、農都共生のまちづくりを進めて参ります。

一層のご支援をお願い致します。(S)